

あがの 阿賀野川の自然 しぜん

あがの 阿賀野川ってどんな川？

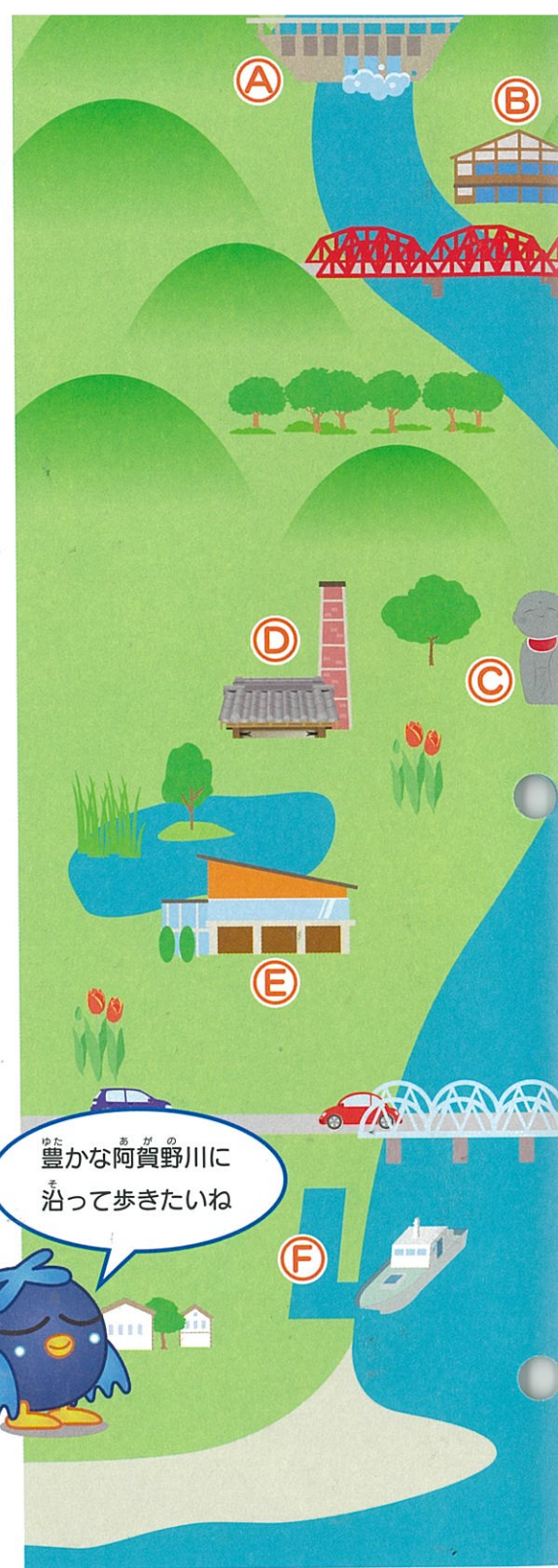
栃木・福島県境の荒海山で生まれた阿賀野川は、福島県では阿賀川と呼ばれ、何本もの川を集めて西へ流れ、新潟市で日本海に注ぎます。流域面積は日本で8番目、長さは日本で10番目の大きな川で、1年間に流れる水の量は信濃川に次いで2番目です。流域は日本有数の水力発電地帯となっています。



あがの 阿賀野川の鳥と魚たち、植物と虫たち

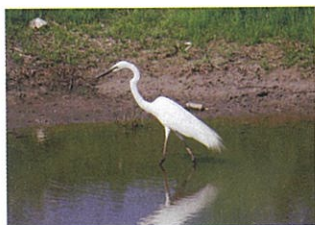
阿賀野川には、112種の鳥（平成20年調査）と52種の魚（平成23年調査）がいます。冬には多くのハクチョウやカモ類が、流れのゆるやかな水面で冬を過ごします。植物は635種（平成24年調査）、昆虫は909種（平成21年調査）もの種類が見られます。

豊かな阿賀野川に沿って歩きたいね



鳥、魚、植物、昆虫の紹介

【動植物写真提供】国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所、水の駅「ビュー福島潟」、県内水面水産試験場



ダイサギ

灰色のアオサギと並んで日本で一番大きなサギの仲間です。大きな魚をつかまえて、ひと飲みします。



ヤリタナゴ

体長8～9cm。体色は灰色で、体の後部に薄青い黒色の縦帯があります。



マガモ

冬になると1万羽以上いることがあります。昼間は安全な広い水面で休み、夜になると周りの田んぼに集団でエサをとりに行きます。



ニゴイ

河川の中流域を代表する魚類で、各地の河川に普通にみられます。名前は、色合いや形がコイに似ていることから名付けられました。小魚は多いですが食べるとおいしいです。